

2. 事後調査の項目及び手法（令和7年度調査に係るもの）

2-1. 佐賀道路の環境影響評価手続の経緯

佐賀道路の環境影響評価手続は、佐賀唐津道路（多久市～佐賀市）として、3路線（多久佐賀道路（Ⅰ期）、多久佐賀道路（Ⅱ期）、佐賀道路）一括で実施している。

一方、事業の実施においては、路線ごとに事業者や着手時期が異なるため、路線ごとに事後調査・モニタリング（以降、事後調査等）を実施する必要がある。そのため、環境影響評価書に記載の事後調査のうち、佐賀道路に係る内容を抽出し、事後調査を実施した。なお、佐賀 JCT（仮称）～嘉瀬南 IC 間は佐賀福富道路の区間となるが、佐賀道路における工事中のモニタリング調査と位置づけて取りまとめるものとした。

事後調査（環境影響評価書に基づく事後調査）は、「植物重要種の移植及びモニタリング調査」のみが該当する。本書では「植物重要種の移植作業及びモニタリング調査」の結果を整理した。

なお、令和7年度は環境影響評価書に記載の事後調査（環境調査の区分A）以外にも、環境監視調査として、環境影響評価書に基づく配慮事項（環境調査の区分B）や令和2年度の環境影響評価モニタリング検討会等での指摘事項（環境調査の区分C）も実施している。それらについては、別冊にて調査結果を整理した。

<環境調査の区分>

本書で整理

A. 事後調査（評価書に基づく事後調査）

…植物（重要種：移植作業及びモニタリング調査）

B. 環境監視調査 1

○評価書に基づく配慮事項 ※事業実施段階で必要に応じて実施を検討する項目

-1. 環境監視項目に設定

…地盤（地下水位観測、地下水質、地盤高）、騒音、振動

C. 環境監視調査 2

○令和2年度の環境影響評価モニタリング検討会等での委員指摘事項

-1. 環境監視項目に設定

…大気質（粉じん）

-2. 補足調査に設定

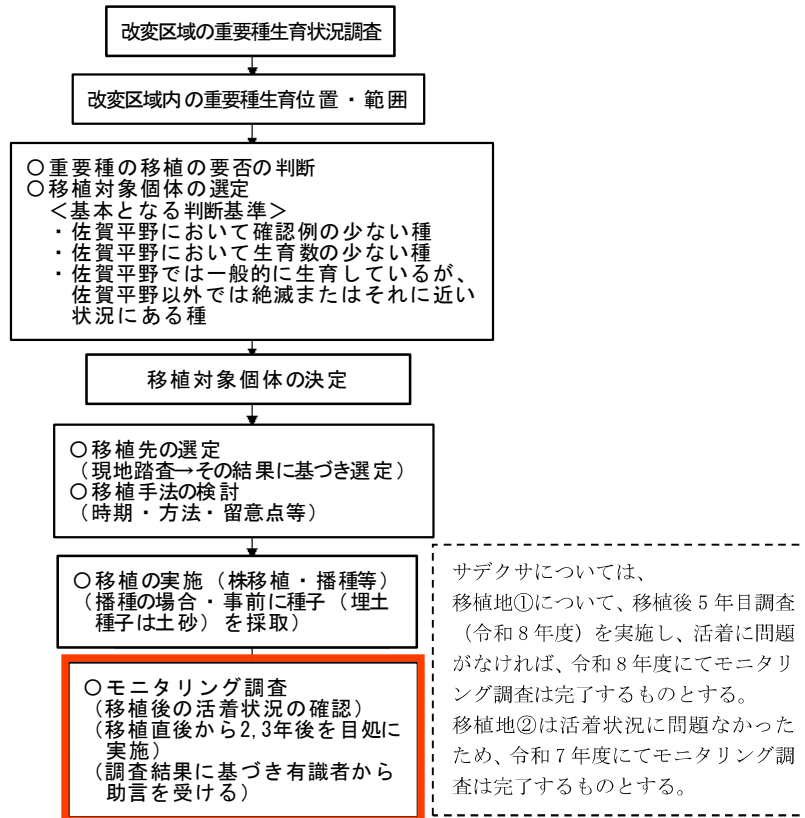
…植物（外来種（Azolla 属）の生育状況調査）

別冊で整理

2-2. 事後調査の項目及び手法

❖ 重要種の移植及びモニタリング調査

項目		内容	備考
環境影響評価項目		道路の存在及び工事の実施に係る植物(植物相)	
名称		重要な植物種の移植及びモニタリング調査	
区分		環境影響評価における環境保全措置・事後調査	
調査目的		移植が必要と判断された重要な植物種について、移植を行い、移植後の活着状況のモニタリングを行う。	
調査地域及び調査地点	調査地域	対象道路全般	
	調査地点	移植個体の生育及び移植候補地(別途選定)	
実施時期	調査時期	工事前(土地を改変するまでに移植)	
	調査頻度	移植・播種作業: 移植・播種等の適期(移植は厳冬期や開花～結実期を極力避ける。播種は、種子の採取時期(結実期)) モニタリング時期: 活着直後(1ヶ月程度)、次期展葉期または開花期(移植後2,3年程度を目途に実施)	モニタリング期間は移植後の活着状況を踏まえ、学識経験者から助言を受ける。
調査方法		移植: 株移植・播種等による 移植後のモニタリング: 目視による移植個体の活着・生育状況の確認	移植の具体的な手法・留意点については、学識経験者から助言を受ける



改変区域の重要種生育状況調査から移植・モニタリングまでの流れ